

先行まちびらきまであと100日「“Osaka MIDORI LIFE”の創造」本格始動

～訪れた人が一歩前に踏み出したくなる、公園を中心にデザインしたまち～

三菱地所株式会社を代表企業とするグラングリーン大阪開発事業者JV9社^{*1}（以下「事業者JV」）は、本日「グラングリーン大阪（GRAND GREEN OSAKA）」（以下「本プロジェクト」）の先行まちびらき100日前を迎え、計画コンセプトである「“Osaka MIDORI LIFE”の創造」～「みどり」と「イノベーション」の融合への取り組みを本格始動しましたので、お知らせします。

●計画コンセプト「“Osaka MIDORI LIFE”の創造」

本プロジェクトは、西日本最大のターミナル駅「JR大阪駅」前に、約45,000㎡の面積を誇る都市公園「うめきた公園」、オフィス、ホテル、商業施設、中核機能施設、分譲住宅などを整備するプロジェクトです。事業者JVは当初より公園と民間敷地を一体的にデザインし、開業後も事業者JVの組成する「一般社団法人うめきたMMO」（以下「MMO」）がうめきた公園指定管理者として50年にわたりパークマネジメントとエリアマネジメントを行うなど、事業者JVが中心になって一体的に運営・管理してまいります。

まちでの出会いが、様々な価値を創造し、持続的にみんなと社会全体を良くしていくことを目指し、計画コンセプトに「“Osaka MIDORI LIFE”の創造」を据え、5つのアプローチを以てまちづくりを推進してまいります。

計画コンセプトを実現する5つのアプローチ

- ・ LANDSCAPE FIRST：公園の中にまちをつくる
- ・ PUBLIC FOCUS：みんなで育てていく、パブリック性の高いまち
- ・ DIVERSITY & OPPORTUNITIES：多様な活動が滲みだす、みんなが一歩踏み出すことができるまち
- ・ NET POSITIVE：サステナブル&ウェルビーイングなまち
- ・ GLOBAL APPEAL：世界から人々を受け入れ、世界に魅力を発信できるまち

●クボタ、ロート製菓など様々な企業の入居・参画が決定

本プロジェクトの検討深化・加速に伴い、株式会社クボタの本社移転や、本田技研工業株式会社（Honda）のソフトウェア開発拠点など、多くの企業が入居を決定しています。また、まちの持続的な運営を自社のSDGsの取り組みや事業開発と連動させ企業価値の向上を目指すロート製菓株式会社やサントリーグループ、パナソニックグループ、西尾レントオール株式会社といった企業がパートナーとして参画することが決まりました。今後も、まち全体で近隣の方やクリエイター、企業、大学、スタートアップなど様々なプレイヤーに関わっていただける仕組みづくりを通じ、中長期でまちを訪れる方々とともに公園を育てていくこと、新たな商品やサービスを生み出していくこと、そしてその成長を通じてまちの価値を高めていくことを目指していきます。

また、本プロジェクトは、大阪府・大阪市、独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）とともに取り組んでいる公民連携のプロジェクトです。本日、先行まちびらき100日前を記念して大阪府・大阪市、UR都市機構と共催で地域の未来を担う近隣園児とともに植樹セレモニーを行いましたので、併せてお知らせします。



▲「グラングリーン大阪」先行まちびらき100日前記念イベントの様子

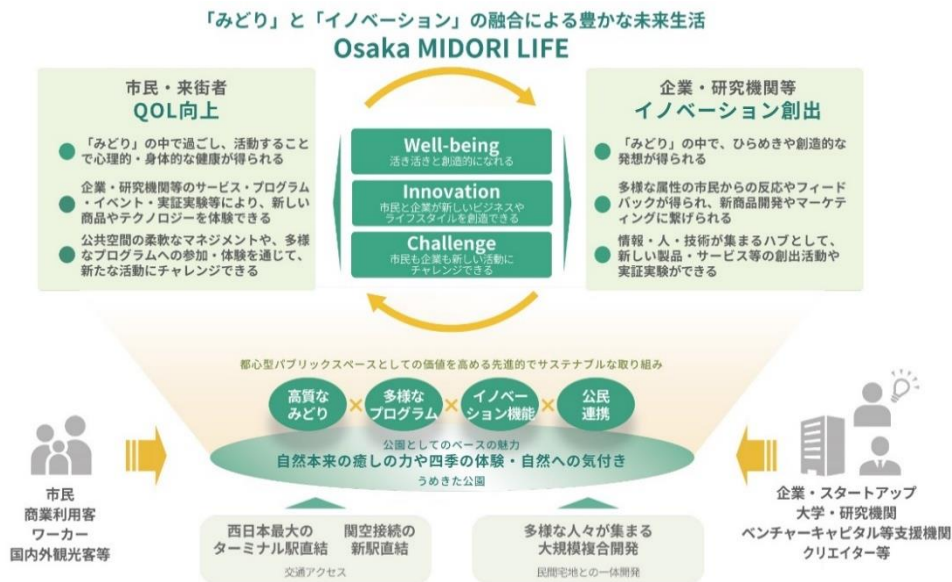
※1 JV9社の1社であるうめきた開発特定目的会社は株式会社大林組が出資するSPCです

■計画コンセプト「Osaka MIDORI LIFE」の創造

「まちでの出会いが、様々な価値を創造し、持続的にみんなと社会全体を良くしていく」こと。
これがグラングリーン大阪の目指すまちづくりです。

私たち事業者JVは、グラングリーン大阪の開発の企画に際し、このまちを訪れる方が前向きになれるまちであること、このまちでの出会いを通じてより良い社会を創っていききたいとの想いを抱いていました。そのため、世界有数の大規模ターミナル駅前に約45,000㎡もの大規模で高質な都市公園をつくることを公民連携の枠組みの中で決め、公園を中心とする圧倒的なみどりに包まれた空間や多様なアクティビティが生まれる大規模複合再開発を計画しました。

まちびらき後も、市民・来街者や、理念に共感いただける企業・研究機関などがチャレンジし活躍出来る場・仕組みを用意し、その方々とともにこのまちで様々な取り組みを進めていくことで、人々のQOL向上や自己実現の機会創出、企業のサステナブル推進活動やイノベーション創出など、新しい価値を共創していきます。



■計画コンセプトを実現する5つのアプローチ

(1) **【LANDSCAPE FIRST】** ～公園の中にまちをつくる～

- ・ ランドスケープファーストで公園の中にまちをつくるという思想のもと、ランドスケープと建物が一体となる都市空間のデザイン
- ・ イベントにも活用できる広場や、光や水の中でくつろげる自然豊かな森、建物の間に浸透する緑や立体的な屋上庭園といった多様な場づくり
- ・ 関西の新たなランドマークを目指し、公園・ランドスケープ全体のデザインリードには、シカゴ・ミレニウムパーク内のルリー・ガーデンなどを手掛けるGGN、公園施設にはともにプリツカー賞を受賞し、世界的に活躍するSANAA（大屋根）・安藤忠雄氏（VS.・文化体験施設）を起用。設計の全体統括は日建設計・三菱地所設計が担い、広大な都市公園と一体の魅力的な都市空間を実現



▲GGN



▲SANAA



▲安藤忠雄

(2) 【PUBLIC FOCUS】～みんなで育てていく、パブリック性の高いまち～

- ・ 構想段階から公民連携のもとで都市公園の整備を進め、運営段階においても大阪市とのモニタリングを実施
- ・ 周辺住民、ワーカー、観光客など様々な人が集まり共存し、ともに楽しむ「都心ならではの公園の過ごし方」を提案するコンテンツを展開
- ・ イベントやアートを通じて文化を感じてもらふ機会を日常的に提供するとともに、それらをきっかけに生まれる市民や企業の発意による活動やチャレンジを支援・育成する仕組みを整備
- ・ 上記の取り組みを、都市公園としては類を見ない、50年間の長期に及ぶ事業者JVとの連携のもと実施



▲「うめきた公園」ロゴ



▲芝生広場の利活用イメージ



▲参加型プログラム「YOSETE UMEKITA」ロゴ

(3) 【DIVERSITY & OPPORTUNITIES】

～多様な活動がにじみだす、みんなが一步踏み出すことができるまち～

- ・ 公園に隣接する多種多様な施設から活動がにじみ出し、様々なプレイヤーが混ざり合うことで、新しいアイデアに触れ、仲間とともに挑戦できるまち
- ・ 企業や大学、スタートアップ、研究機関などが集い、ともに活動するごちゃごちゃ空間「JAM BASE」
- ・ 官民一体のイノベーション支援組織「一般社団法人うめきた未来イノベーション機構（U-FINO）」
- ・ まちでの活動をともに推進する企業連携制度「MIDORI パートナー」
- ・ 企業の垣根を超えて、入居者同士のつながりを育むラウンジ「sorappa」
- ・ 内閣府からのスーパーシティ指定により、規制緩和を伴う先導的な実証実験を行える環境



(4) 【NET POSITIVE】～サステナブル&ウェルビーイングなまち～

- ・ 85年間にわたり物流の拠点であった梅田貨物駅跡地が、人々が憩い交わるみどり溢れた公園に生まれ変わる、「ネットポジティブ※2」の概念を体現するプロジェクト
- ・ 街区全体の約9割を在来種の植物で構成。化学肥料や農薬を限定的に散布することで環境負荷を抑制するほか、56種類の鳥類・昆虫類を誘致目標種として定めた上でモニタリングを行うとともに、情報発信することで、次世代の担い手に対し、生物多様性に対する関心のきっかけづくりを図る
- ・ 帯水層蓄熱設備や、バイオガス発電設備、下水熱利用設備、バイオディーゼル発電設備、地中熱利用設備といった新しい再生可能技術を最大限活用。電気については関西電力グループが再エネ価値取引市場で調達するトラッキング付非化石証書が付与された「RE100」に対応した実質再エネ電力を、また、ガスについては Daigas グループが提供するカーボンニュートラルな都市ガスを導入予定
- ・ みどり空間のなかで癒しや活力を感じてもらい、都市型スパや健康計測ステーションなどを通じて人々のウェルネスな活動も後押しすることで、訪れる方が、来る前よりも「前向き」になれるまち



▲LEED GOLD 認証
(計画認証) を取得



▲誘致目標種のひとつ
シジュウカラ



▲関西最大級の都市型スパ
「うめきた温泉 蓮 Wellbeing Park」

※2 人類や世界・地球のあらゆる問題を解決するための現実的かつ道徳的な事業活動や、そのもとになる考え方のこと

(5) **【GLOBAL APPEAL】** ～世界から人々を受け入れ、世界に魅力を発信できるまち～

- ・ 関西国際空港や新大阪駅にも繋がる西日本最大のターミナル駅「JR大阪駅」に直結し、国内外からうめきたへのスムーズなアクセスが可能
- ・ 日本初開業となるウォルドーフ・アストリアをはじめ、世界中からビジネス・観光を誘引する国際性の高い3つのホテルブランド
- ・ 関西の食と文化を体験できる大規模フードマーケット「Time Out Market Osaka」
- ・ MICE 施設を整備し、公園施設や中核機能施設などもユニークベニューとして活用することで、広域・国際的なエリア MICE を誘致



▲ウォルドーフ・アストリア大阪
ピーコック・アレー

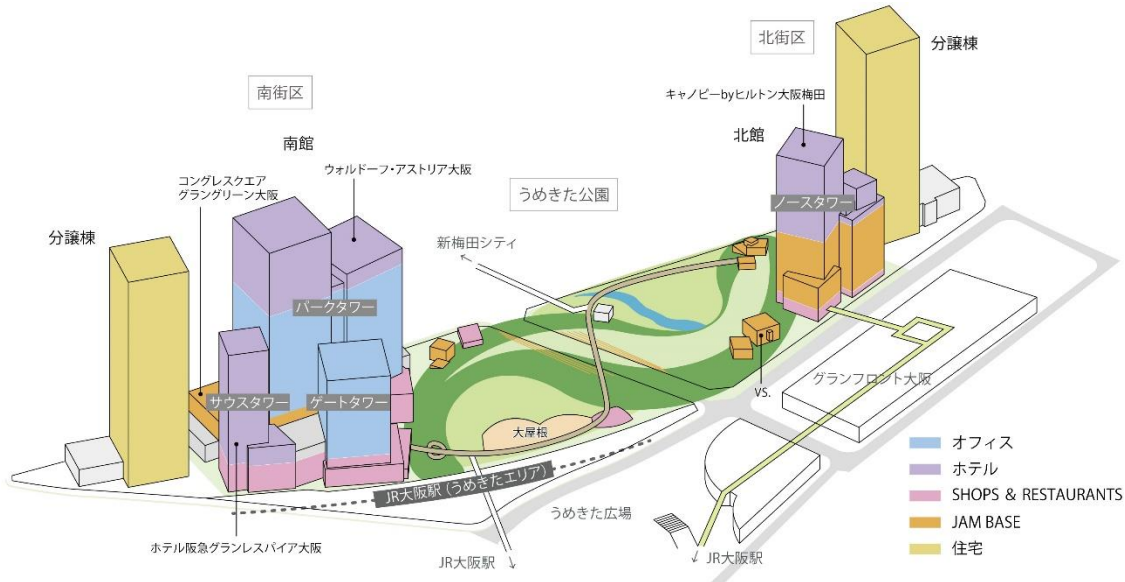


▲Time Out Market
※写真は Time Out Market Lisboa



▲MICE 施設
コンgresクエアグラングリーン大阪

全体概要



■全体スケジュール

- | | |
|------------|--|
| 2018年7月12日 | 事業者決定 |
| 2020年12月1日 | 民間宅地着工 |
| 2022年4月18日 | 公園着工 |
| 2024年9月6日 | 先行まちびらき（北街区のホテル・中核機能施設・商業施設および
うめきた公園（サウスパーク（南公園）全面およびノースパーク（北公園）の一部） |
| 2025年春頃 | 南館開業（南街区のオフィス・ホテル・中核機能施設・商業施設） |
| 2027年春頃 | 公園全体開園 |
| 2027年度 | 全体まちびらき |

以上

<報道関係者からのお問い合わせ先>
オリックス株式会社 グループ広報・渉外部
TEL : 03-3435-3167

大規模ターミナル駅直結の都市公園としては世界最大級「うめきた公園」～市民や企業とともに作り、ともに育てる公園～

事業者 JV は、圧倒的なみどりを備え、多様な空間があり、歴史にも配慮した都市公園を、公民連携により整備の上、長期的なまちづくりの視点に立ち、50年間にわたりマネジメントを行います。

日常・非日常のプログラムやイベントにより、来街者の人生の1ページに刻まれる感動体験を創出するほか、訪れる人に自らの公園として愛着や誇りを感じていただけるよう、市民活動支援の枠組を用意します。

その他、世界で活躍する作家が手掛けるパブリックアートを設置するほか、本プロジェクトのサステナブルな価値観・計画や「共創」の理念に共感いただける企業や団体を対象とした企業連携制度「MIDORI パートナー」を創設・運用することで、公園およびまちの持続可能な運営を図ります。

(1) 圧倒的なみどり、多様な空間、歴史継承

- 85年間にわたり鉄道物流の拠点であった梅田貨物駅跡地である本街区全体において、ネットポジティブの理念により地球に貢献するという考え方に立ち、地区面積約91,000㎡のうちおよそ半分の約45,000㎡を都市公園とします。また、地区面積の約3分の1となる約30,000㎡において、約320種（在来種約270種を含む）、高木・中木計約1,500本もの多様な緑地を形成し、西日本最大のターミナル駅前に圧倒的なみどり空間を創出します。
- ノースパークを中心に、エドヒガン、ヤマザクラ、ソメイヨシノ、オオシマザクラ、ヨウコウザクラ、シキザクラなど、開花時期や色彩の異なる桜約110本を植栽しており、都心の「桜の新名所」を目指します。
- 約4,000㎡の芝生広場を設け、人々の憩いの空間を提供するとともに、アジサイ、ツツジ、シャクナゲなどを配した色彩ガーデンでは、彩り豊かな空間で来街者に対して落ち着きの感じられる寛ぎの空間を提供するなど、来街者がその時々気分やシーンに応じて最適な居場所を選択できるよう、多様な空間を提供します。
- 水都大阪の歴史に敬意を表し、サウスパーク、ノースパークの双方に水景や橋を整備するほか、市民に愛される公園を目指し、大阪のシンボルロードである御堂筋で植栽されていたイチヨウの移植を行います。



▲うめきた公園（サウスパーク）



▲色彩ガーデン（サウスパーク）



▲うめきた公園（ノースパーク）

(2) 長期的かつ先進的な維持管理

- MMO は、他の公園では類を見ない50年間の長期にわたって、指定管理者として管理運営を行い、「JR 大阪駅」前の都心立地に相応しい、高質な維持管理を行います。
- 芝生広場において、夏芝と冬芝の併用を行い、冬季も青々とした様相を実現し、1年を通じて景観価値と利用価値の共存を図ります。
- 色彩ガーデンにおいて、豊富な管理実績を持つ株式会社日比谷アメニスと連携し、ガーデナーの配置と専門的知見に基づく細やかな手入れを行うことで、季節ごとに移ろう花々の色彩を保ちます。
- 生物多様性への配慮として、化学肥料や農薬を限定的に散布することで環境負荷を抑制するほか、淀川や大阪城公園をはじめとする周辺の生態系地域とのグリーンネットワーク形成により生息が想定される56種類の鳥類・昆虫類を誘致目標種として定めた上でモニタリング・情報発信を行います。

- ・ うめきた公園のみならず、民間敷地を含めた街区全体で管理水準を統一し、モニタリングを行うなど、竣工後もまち全体でみどりの美しさを最大限に保ち、育てていく取り組みを行ってまいります。



(3) 来街者の日常を彩る多彩な参加型プログラムと、非日常体験を味わうシーズナルイベント

- ・ 来街者一人ひとりが自分たちの公園として思い思いに過ごせるようにするためのファニチャーや備品を配置する「貸出サービス」を導入します。また、新たな発見や文化的な刺激に出会える「参加型プログラム」や、桜をはじめ季節の魅力を活かした非日常体験「シーズナルイベント」など、市民や観光客、ワーカーなど、ここに集う誰もが日常、非日常を問わず楽しめるプログラムを展開します。

<日常を彩る参加型プログラム“PARK PROGRAMS”>

① 音楽・ダンス・伝統芸能などをジャンル横断で魅せるパフォーマンス企画「YOSETE UMEKITA」

- ・ パフォーミングアーツの企画や運営は一般社団法人ベンチと連携し、大阪の上方文化と音楽、ダンス、演劇を融合しアップデートしたプログラムを展開します。
- ・ グランフロント大阪では「MUSIC BUSKER IN UMEKITA」など、日常的に音楽イベントが展開されていますが、本プロジェクトでは音楽にとどまらず、多様で幅広いコンテンツに取り組み、高質なランドスケープに映える視覚的にも楽しめる体験を新たに提供します。



▲「YOSETE UMEKITA」ロゴ

② アフター5 や休日に気軽に参加できる講座・体験型プログラム「UMEKITA PUBLIC SCOOP」







- ・ 各種イベント、セミナー、ワークショップなどの企画・運営は good mornings 株式会社と連携し、このまちで働く方や住もう方、レジャー・買い物のために訪れる方など「都市に暮らす人々」をターゲットに、ウェルビーイングや新しいコミュニティ形成に資する講座や体験プログラムを、アフター5 や休日を中心に展開します。

(4) 来街者による公園でのチャレンジ活動支援の仕組み「MIDORI CLUB」

- ・ うめきた公園を愛する人々が、集まり、公園を支え、盛り上げる活動を行うことを「まちのクラブ活動」として認定し、サポートする仕組みを構築します。「まちのクラブ活動」の立ち上げや企画推進、活動実施にあたっては、未経験の方でも積極的にチャレンジいただけるよう、支援・伴走を行う予定です。
- ・ 訪れる方が主体的に活動・活用いただくことを通して、自らの公園として、シビックプライド（愛着や誇り）を感じていただける状態を目指します。

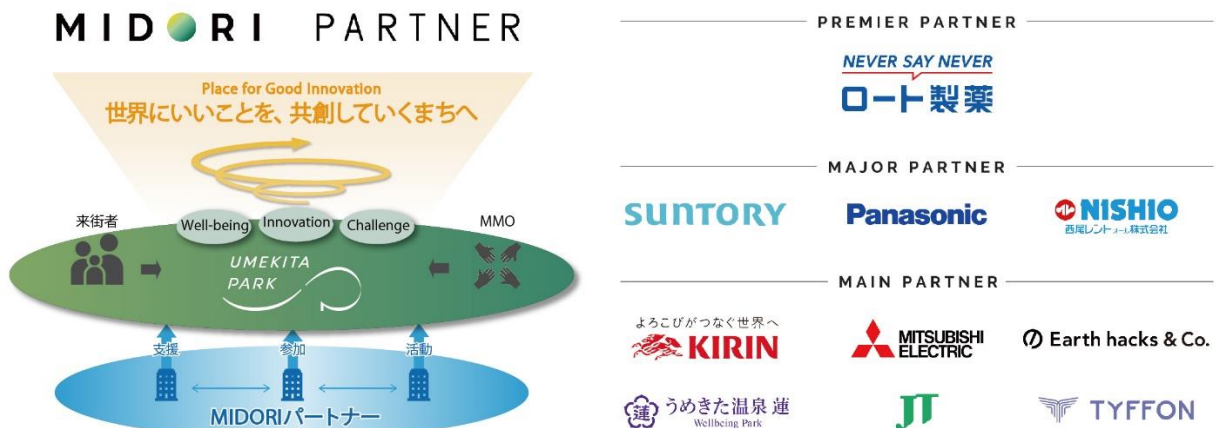
(5) 世界の作家によるパブリックアート

- ・ 豊富な実績を有する有限会社 TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE によるキュレーションのもと、来街者に新たな視点を与え、ひらめきの創出に繋げるパブリックアートを、世界で活躍する作家が制作。
- ・ 常設アートのみならず、多様なプレイヤーと連携し、まちのコンセプトなどに合致した外部アートイベントの誘致も図ってまいります。

YUMEMITAI	Serendipity	FULL BLOOM I / II
 <p>Photo by Daniel Sheriff</p> <p>ラム・カツイール RAM KATZIR</p> <p>1969年 イスラエル生まれ オランダ在住</p>	 <p>Photo by Hironori Katagiri</p> <p>ケイト・トムソン KATE THOMSON</p> <p>1961年 スコットランド生まれ 岩手県在住</p>	 <p>Courtesy of Jun Kaneko Studio</p> <p>金子 潤 JUN KANEKO</p> <p>1942年 愛知県生まれ アメリカ在住</p>
 <p>Photo by TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE</p>	 <p>Photo by TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE</p>	 <p>Photo by TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE</p>

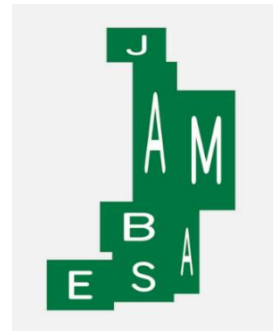
(6) まちでの活動とともに推進する企業連携制度「MIDORI パートナー」

- ・ 本プロジェクトのサステナブルな価値観・計画や「共創」の理念に共感いただける企業や団体を対象とした企業連携制度「MIDORI パートナー」を創設します。
- ・ 本制度では、「世界にいいことを、共創していくまちへ」というスローガンのもと、単なる営利活動にとどまらず、参画いただく企業や団体とともに、世界規模の社会課題（持続可能な社会づくり、来街者のQOL向上など）の解決に向けた活動や情報発信を行ってまいります。
- ・ 今般、以下のパートナー企業の参画が決定しました。今後、先行まちびらき後に展開する取り組みの準備活動を進めていくほか、更なるパートナーを募集してまいります。本制度で得られる協賛金なども活用し持続的な管理運営に努めます。



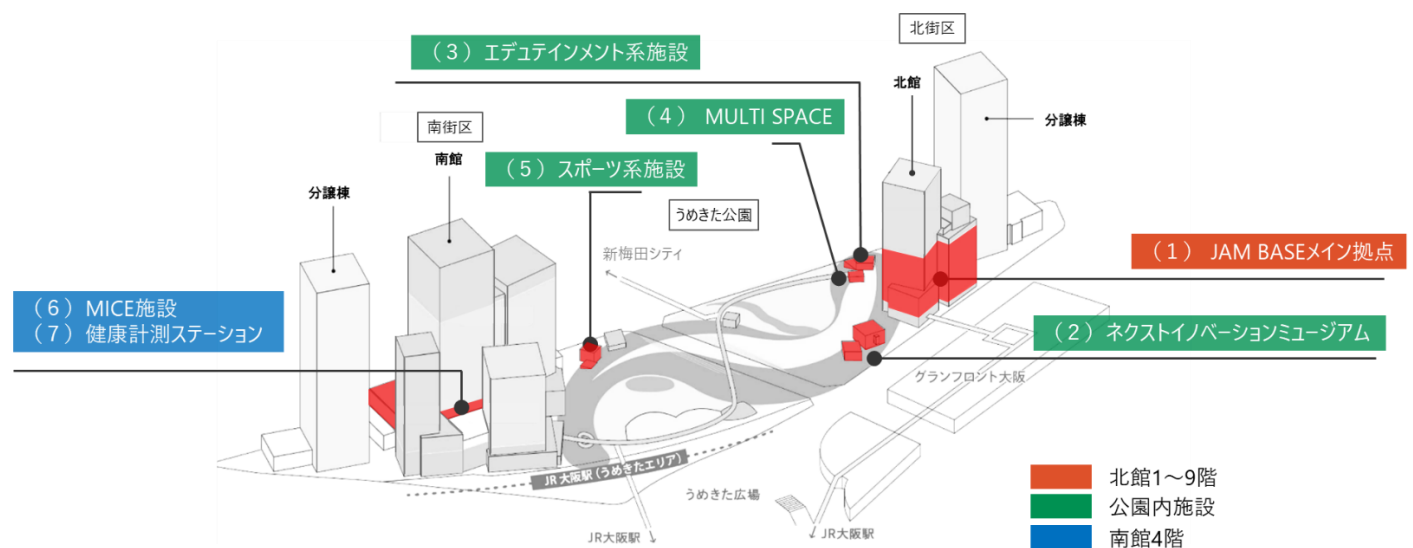
中核機能施設「JAM BASE」～まざりあい、ひびきあう、みどりの中の共創拠点～

「JAM BASE」は、多様な人々が集い交わることで、アイデアやイノベーションが生まれることを目指す、本プロジェクトの中核を担う施設の総称です。グラングリーン大阪は、「JAM BASE」が中心となり、学生や起業家をはじめ、大学・研究機関、スタートアップ、ベンチャーキャピタル、事業会社、うめきた周辺のローカルコミュニティなど様々なプレイヤーが集い、新たなアイデアを形にし、社会実装・事業化への挑戦を行うイノベーション活動の拠点を目指します。（JAM BASEの管理・運営法人：一般社団法人コ・クリエーションジェネレーター（CCG））



また、行政、経済界、開発事業者が参画する官民一体組織である「一般社団法人うめきた未来イノベーション機構（U-FINO）」が、新産業創出の実現に向けて活動し、CCGとともに運営してまいります。

■まちに点在する「JAM BASE」の施設



(1) JAM BASE メイン拠点

- 北館 1 階～9 階をメイン拠点とし、そこを起点にまち全体に様々な施設を配置します（上図の赤色部分）。まちの各所で「JAM BASE」の営みを展開し、多様な市民（生活者）との接点を構築します。
- メイン拠点では、うめきた公園に面する 4 層吹き抜け空間を有した会員制サロン「Syn-SALON」を中心に、スタートアップや大企業の研究開発部門、ベンチャーキャピタル、大学発の研究プロジェクトなどが拠点を構え、クリエイターやローカルイノベーター、学生起業家などが、それぞれの実現したい未来に向けた取り組みを混ざり合いながらともに推進できるようサポートしてまいります。



▲Syn-SALON



▲JAM-STUDIO



▲JAM-DESK

- これからの成長を目指すスタートアップ企業や、国内、海外の企業が大阪でのサテライトブランチを手軽に設けられる、家具付きのレンタルオフィス「JAM-STUDIO」を整備し、すでにご入居様を募集中です。

◎お問い合わせはこちら→<https://jam-base.com/jp/membership1.html>

- ・ また、副業や起業準備の方々にもお使いいただける、法人・個人を問わず1席から契約可能な全席フリーアドレスの coworking space JAM-DESK は、法人登記・住所利用が可能です。
- ・ このたび、Syn-SALON 会員、JAM-DESK のプレントリーを本日より開始いたします。
◎プレントリーはこちら→<https://jam-base.com/jp/#news>

JAM BASE を起点に活動する、イノベーション支援組織「U-FINO」

- ・ JAM BASE を拠点に活動する U-FINO は、国立研究機関や大学などの教育研究機関、企業の新規事業部門や研究所、金融機関、先行するイノベーション支援機関、自治体などエコシステムを形成する諸機関と連携し、関西のイノベーションエコシステムの発展・強化の役割を担います。その際、官民一体組織の強み、グラングリーン大阪の地の利、都市公園を抱える恵まれた環境を最大限に活用し、社会課題の解決や新産業創出に貢献してまいります。具体的には、関西の強みや本プロジェクトの特徴を生かした、大学・研究機関の研究シーズなどを活用した先端的分野のイノベーションの社会実装や事業化に資する取り組み、「みどり」を活かした活動への支援などを行います。また、先行まちびらき後は、これまでの活動を JAM BASE を中心とした活動へと再構成し、より有機的に活動を進めていくことで、新産業創出をはじめとしたまちの目標の実現を目指します。

(2) VS. (旧称：ネクストイノベーションミュージアム)

運営：株式会社トータルメディア開発研究所・株式会社野村卓也事務所
「うめきた公園の中心に誕生する新しい文化装置」

- ・ 天井高 15 メートルの展示スタジオをはじめ、ユニークな建築空間の中で、世界に向けた企画展やイベント、イノベーションプロジェクトなどを開催します。特定のテーマやコレクションをもたず、テクノロジーとリベラルアーツ、伝統的な文化と新しい発想など、国内外の多様な文化を結びつけ、VS.を訪れる人々や社会に対してインパクトを提供する施設です。

VS.



▲施設イメージ

(3) BorneLund PLAY CUBE ボーネルンド プレイキューブ (旧称：エデュテインメント系施設)

運営：株式会社ボーネルンド
「子ども・大人の「楽しい」を応援する、次世代型体験学習施設」

- ・ 「ものづくり」「運動・健康」「自己表現」「自然科学」「屋外活動」などの分野で、普段出会えない各分野のプロと子どもたちを結びつけ、一緒に学び、それぞれの知識をシェアする、次世代型のフリースクールやアフタースクール機能も有した新業態。
「自分の好きを見つける」をキーワードに、大人を対象としたセミナーの実施、専門家とともに子どもの発達や学びを研究するラボの開催、大人も子ども安心して集える親子カフェを併設します。



▲施設イメージ

(4) MULTI SPACE

「イノベーションにつながる様々な活動を公園を訪れる多様な人々と作り上げる拠点」

- ・ 「みどり」のなかでのワークショップ、新しいアイデアや技術を実際に使ってもらって試す実証実験など、みんなの「やりたい」とみんなの「おもしろい」が会う場所であり、ライフデザイン・イノベーションに資する体験や学びなど様々なプログラムを実施することができます。



▲施設イメージ

(5) Fit cube (旧称：スポーツ系施設)

運営：グリーンシステム株式会社

「みどりと健康の融合拠点」

- ・ 1階では、ランニングやウォーキング、公園アクティビティ利用者へのロッカー、シャワーなどの提供、企業とコラボした個々の健康・身体情報データ収集などのラボ機能を設けます。2階は、専門家によるストレッチ施術や整体、愛犬とのヨガを行える、精神と身体の健康を意識した多目的のスペースです。また企業との連携による参加型健康増進プログラムの提供や美容・スポーツ関連イベントや販売を実施予定。カフェ『Chillpple(チルプル)』では、焙煎所と提携した本格派コーヒースムージーやプロテインをテイクアウトにてお楽しみいただくことができ、屋外テラスではペット同伴での利用も可能です。



▲施設イメージ

(6) コングレスクエア グラングリーン大阪 (旧称：MICE 施設)

運営：株式会社コングレ

「広域的・国際的な連携も可能な MICE 施設」

- ・ 関西国際空港・新大阪駅にも繋がる西日本最大のターミナル駅「JR 大阪駅」に直結し、国内外からの良好なアクセスが可能な、約 750 m²の大ホール・約 450 m²の小ホール・大小 12 の会議室などを有する都市型 MICE 施設です。リラックスしたミーティングから、イノベティブなイベント、人と知が集う国際会議など、公園施設や中核機能施設などと協力・連携しながら、より豊かな「つながり」を育む場所となることを目指します。

コングレスクエアグラングリーン大阪
Congrès Square Grand Green Osaka



▲施設イメージ

(7) SLOW AND STEADY (旧称：健康計測ステーション)

運営：株式会社スマートバリュー

「好奇心をきっかけに健康を意識できる場所」

- ・ SLOW AND STEADY は、「Lounge」「Studio」「OpenSpace」を備え、仕事に「ふっ」と息をつく休憩スペースであり、好奇心を感じながら最新のヘルスケア製品や計測機器をお試しできるショールームであると同時に、ヨガなどの軽運動イベントやマインドフルネス関連のセミナー、VR スポーツ大会など、様々な体験も提供します。「健康経営推進企業」と「ヘルスケア企業」双方の課題をつなぐことで、それぞれの課題を解消し、同時に先進的なヘルスケアサービスを社会実装するリビングラボ形成を目指します。

SLOW AND STEADY



▲施設イメージ

■JAM BASE 入居機関、企業一覧

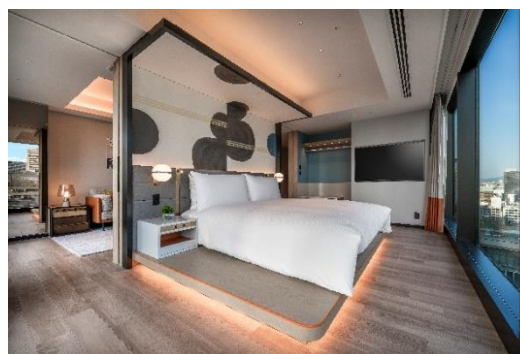
入居場所	業態	施設名称	入居機関・企業	概要/参考
ノースパーク	文化体験施設	VS. (ヴィエス)	トータルメディア開発研究所 野村卓也事務所	https://vsvs.jp/
ノースパーク	スクール・親子カフェ	BørneLund PLAY CUBE	ボーネルンド	子ども・大人の「楽しい」を応援する、次世代型のフリースクール機能などを有した新業態を設置予定
サウスパーク	ランニングステーション・スタジオ・カフェ	Fit cube	グリーンシステム	「みどりと健康の融合拠点」をコンセプトに、ランニングステーション、多目的スタジオ、テイクアウトカフェを設置予定
南館4階	MICE 施設	コンGRESクエア グラングリーン大阪	コングレ	https://congre-cc.jp/umekita2/
南館4階	オフィスワーカーの健康支援施設	SLOW AND STEADY	スマートバリュー	https://www.smartvalue.ad.jp/news/6949/
北館1階	シェア型 フードホール	re:Dine OSAKA	favy	https://blog.favy.co.jp/24371/
北館2階	サテライトラボ (来街者体験型の 実証実験など)	大阪大学みらい創発 hive	大阪大学	https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/public-relations/press_release/2023/09/20230928_01
北館2階	アバターコンビニ	未定	AVITA	ローソンと提携し、アバターが接客する未来型コンビニを出店。最先端テクノロジーを活用した新体験の提供、企業などとのコラボレーションも予定
北館3階	オープンイノベーション施設	未定	さくらインターネット	https://www.sakura.ad.jp/corporate/information/newsreleases/2023/09/28/1968213739/
北館3階	クリエイティブ スタジオ	未定	トータルメディア開発研究所	当社の理念・価値感・発想のプロセスを発信し、新しい事業を生み出す共創のハブとして機能する、ビジネス&コミュニケーションプレイス
北館5階	社会共創・ 交流拠点	未定	立命館	https://www.ritsumei.ac.jp/pr/ofile/pressrelease_detail/?id=903
北館6階	クラウド録画 サービス、 映像データ活用 ショールーム	未定	セーフィー	https://safie.co.jp/news/2158/

世界とまちの交流を促す3つのホテル

世界中から観光やビジネスを目的に来阪される様々なお客様の受け皿となる3つのホテルを用意。旅の目的以外にも、ホテルの洗練されたサービスや、大阪の文化・ブランドアイデンティティを体現したデザインに触れることができ、一歩外に踏み出せば、みどり豊かな公園の癒しや、本プロジェクトにおいて提供される様々なアクティビティに積極的に参加することができます。

(1) キャンピ―by ヒルトン大阪梅田

- ・ Neighborhood (ネイバーフッド) をコンセプトに 2014 年に誕生したヒルトンのライフスタイルブランドであり、日本初進出の「キャンピ―by ヒルトン大阪梅田」は、エントランスに大阪のソウルフードであるたこ焼きを作る鉄板をモチーフにデザインした照明でお客様をお出迎えするなど、お客様のご到着から旅の高揚感を掻き立てます。モダンでデザイン性の高い 308 室の客室の他、11 階のロビーフロアには大阪の街や文化からインスピレーションを受けたオールデイダイニングとルーフ・トップバー、1 階にはうめきた公園に面したカフェがあり、公園に接することで、グラングリーン大阪で展開する様々なアクティビティに触れる機会を促します。
- ・ 「キャンピ―by ヒルトン大阪梅田」は今年 9 月 6 日にオープンし、本日 5 月 29 日より国内宿泊予約を開始します。



▲コーナースイートルーム

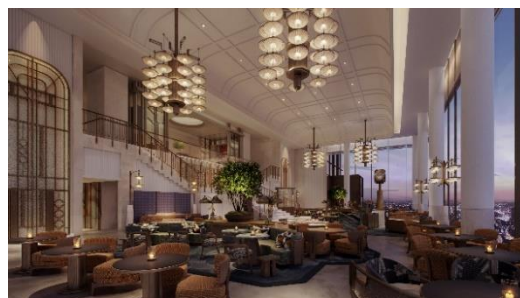
予約 HP はこちら：<https://canopy.hiltonhotels.jp/hotel/kansai/canopy-by-hilton-hotel-osaka-umeda>

キャンピ―by ヒルトン大阪梅田に関する記事：<https://umekita2.jp/persons/1396/>

<https://umekita2.jp/focuson/887/>

(2) ウォルドルフ・アストリア大阪

- ・ ヒルトンの最上級ラグジュアリーブランドで 2025 年に日本初開業となる「ウォルドルフ・アストリア大阪」はお客様一人ひとりに向けたパーソナルなサービスと食への追求とこだわりインスピレーションを受ける見事なまでの空間で、「True Waldorf Service」による極上のおもてなしをお楽しみいただけます。客室は 50 ㎡を中心とする 252 室。ウォルドルフ・アストリアの象徴とされるラウンジ&バー「ピーコックアレー」のほか、レストラン、フィットネス、スパ、屋内プール、チャペル、ライブラリー・ラウンジ、宴会場など、様々な設備をご利用いただけます。



▲ピーコック・アレー

ウォルドルフ・アストリア大阪に関する記事：<https://umekita2.jp/persons/879/>

(3) ホテル阪急グランレスパイア大阪

- 「ホテル阪急グランレスパイア大阪」は、阪急阪神ホテルズの新ブランドです。
2019年に誕生した「レスパイア」ブランドの「静かな癒し（静：REST）と明日への活力（動：INSPIRE）を提供する」というコンセプトを継承しつつ、より質の高いくつろぎを求めて、スペイン語・イタリア語で“素晴らしい”“素敵な”を意味する“GRAN”を冠したものです。「レスパイア」に、都市の中で自然と安らぎを感じられる居心地や大人な上質さが加わった、アップスケールホテルです。客室は約 23 m²を中心とする全 482 室で、レストラン、バー、ラウンジ、フィットネスなどを設置する予定です。
「ホテル阪急グランレスパイア大阪」は 2024 年度下期にオープン予定です。



▲エントランス

グランレスパイア大阪に関する記事：<https://umekita2.jp/focuson/1173/>

世界との交流拠点となる南街区では、国内外からの来街者が楽しめるレストランやショップだけでなく、近隣に住む人や働く人たちが交流できる場を設け、次世代型の体験価値の提供を目指します。北街区ではグランフロント大阪のナレッジキャピタルとグラングリーン大阪の中核機能施設「JAM BASE」を繋ぎ、知の交流と市民参加を促進する商業空間を目指します。



当施設は、「OSAMPO with Green」をコンセプトとし、これまでうめきたで育まれてきた、心にゆとりのある、おさんぽ気分のお買い物や食事の時間を、“みどり”とともに楽しむことができる空間で「“みどり”とともに、もっと OSAMPO。」を体験いただけます。

(1) 公園内施設

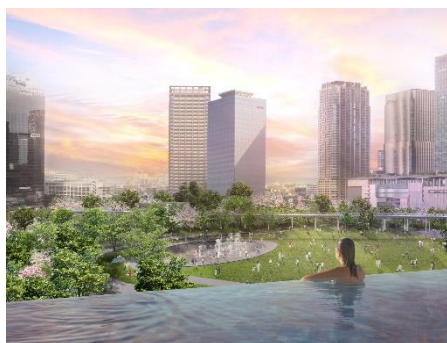
- ・ 「都市公園の季節ごとに変化する景色を楽しみながら食事をする」という体験を提供する施設で、うめきた公園サウスパークの3店舗と同ノースパークの1店舗の合計4店舗を、それぞれ利便性の高い公園の入口付近に設置します。また、カフェ&レストラン「SIK eatery」やカフェ「boo boo boo」などでの軽食・飲料のテイクアウトや、テラス席でのお食事など公園ならではの楽しみ方も充実させます。

(2) 北館

- ・ 都市公園の「みどり」と一体となれる計15店舗がオープンします。ホームセンターコーナン初の都市型店舗である「gardens umekita」では、販売だけでなく植物の楽しさを積極的に発信します。また、開放的でゆったりとした空間を実現した国内有数の大型店「パタゴニア 大阪・梅田」や、ペットとともに公園ライフを満喫できるショップが出店します。さらに、歯科や産婦人科などのヘルスケア関連の施設も充実させます。

(3) 南館

- ・ 2025年春頃にオープン予定の南館では、最先端の都市型ライフスタイルの先駆けとして、国際色豊かなレストランやショップが出店します。関西最大級の都市型スパ「うめきた温泉 蓮 Wellbeing Park」には天然温泉や、うめきた公園を見渡せるインフィニティプールが備わり、ウェルネスハブとして、健康や美容、エクササイズ、リラクゼーションなど、高い付加価値を有する体験機会を提供します。また、グローバルメディア「Time Out」が監修するアジア初進出の大規模フードマーケット「Time Out Market Osaka」がオープンします。



▲関西最大級の都市型スパ
「うめきた温泉 蓮 Wellbeing Park」



▲Time Out Market
※写真は Time Out Market Lisboa

(4) スタッフが働きやすい環境づくり

- 本プロジェクトでは、多くのスタッフが働くこととなりますが、「スタッフが健康的で快適に働くことができる施設でありたい」という想いの実現に向けて、高い機能性と快適性を備えた STAFF LOUNGE（休憩室）を設置します。デンマーク語で「居心地がいい空間」や「楽しい時間」を意味する「HYGGE（ヒュッゲ）」をテーマに、あたたかみのある木目やグリーンなどの自然素材を活用したほか、鏡や照明器具はゴールドを基調とし、上質ながらもほっと一息つける空間を提供します。

<主な設備>

- ワークブース／スタッフミーティングルーム
- リラクゼーションを重視したリクライニングチェア／小型テーブル
- SNS・動画撮影に適したスタッフ専用撮影スタジオ ※南館にのみ配置
- 無人営業コンビニエンスストアの設置（運営：心幸サービス株式会社）

※南館にのみ配置。早朝から深夜まで利用可能



▲北館の休憩室



▲南館の休憩室 ※2025年春頃オープン予定

新しい働き方をリードする次世代オフィス

パークタワーとゲートタワーから構成される本オフィスは、国内外の先駆的大手企業やクリエイティブな人々の活動の場となる次世代オフィスです。創造性や生産性を引き出すみどりに溢れた空間や、豊かなコラボレーションやイノベーションを促進する施設との連携により、働くだけの場所に留まらない、魅力的なコミュニティやビジネスエコシステムの拠点となります。ワーカークのウェルビーイングに繋がる取り組みも展開予定です。

様々なプレイヤーとの協業や新たなワークスタイルの確立に向けて、まち全体の求心力・ポテンシャルに期待をいただき、株式会社クボタが、本オフィスへの本社移転を決定しております。また、グランドグリーン大阪が価値提供するコンセプトに共感いただいた本田技研工業株式会社（Honda）がソフトウェア開発拠点のオフィスとして入居を決定しています。

（1）まち全体が新たな価値を生み出すためのフィールドとして機能

- ・ 中核機能施設「JAM BASE」と連携し、企業とスタートアップの交流や、アイデアの活性化を目的とした新事業プログラムの展開を見込んでいます。パークタワー内のホテルや MICE 機能、SLOW AND STEADY の活用を通じた効果的な情報発信などもサポートし、まち全体で事業機会の創出を支援します。また、商業施設・公園施設などを活用したワーカーク向けチームビルディングプログラムを展開し、チーム力を高める機会を提供します。

（2）ワーカークのウェルビーイングを支援

- ・ ワーカーク用オフィスラウンジ「sorappa」を 2025 年春頃に開業します。ダイニング、カフェ、ワークスペース、テラスから構成され、昼は就業者専用、夜は一般の方もご利用いただけるダイニングラウンジとしてまちに開放します。不足しがちな栄養素に特化したメニューを提供し、健康を食の観点からサポートします。隣接する SLOW AND STEADY とも連携することで、日々の健康を計測しながら健康的なライフスタイルを支援します。
- ・ テラスでは、マインドフルネス・ヨガプログラムなどの様々なワーカーク向けイベントを開催する予定です。
- ・ また、ワーカークの多様な働き方の実現をサポートするため、子育て支援施設を整備します。



▲公園側へ開いた窓から見える空と共に、
時を愉しむダイニング



▲リフレッシュやミーティングにも活用できるテラス

（3）公園をワークプレイスとして活用

- ・ 公園内に多様な使い方ができるワークプレイスを提供することで、オフィス内だけでなく、うめきた公園においても「働く」を実践できる環境を整備します。公園内のワークプレイスでは、ディスカッションや休憩、集中作業など、様々な活動が可能なオフィス什器を備えます。公園の「みどり」と調和したワークスペースの提供により、新たな働き方の可能性を拓げます。



▲公園内ワークプレイスイメージ

住まいと暮らしの最先端を切り拓く、2 棟のタワーレジデンス

自然と都市が融合するグラングリーン大阪に住まうということ、それは、住まいと暮らしの最先端を切り拓くこと。ここから広がっていく、想像を超えるライフシーンの数々は、現在、分譲中のグラングリーン大阪 THE NORTH RESIDENCE から、引き続き分譲が予定されている南街区分譲棟へと続いていきます。ここにしかない、新たな暮らしの舞台がはじまります。

(1) グラングリーン大阪 THE NORTH RESIDENCE

- ・ デザインコンセプトは「THE PALACE」。グラングリーン大阪 北街区の落ち着いたエリアに誕生する、地上 46 階建、総戸数 484 戸の大規模タワーレジデンス。
- ・ まちや自然と調和しつつ、雄大さや威厳を併せ持つ、非日常性の高い「次代の王宮」のような住空間。
 - 世界最大級の規模を誇る大規模ターミナル駅直結の都市公園が眼前に広がるロケーション
 - 愛車を専用エレベーターで自宅前まで運び込むことができるカーギャラリー付き住戸
 - 非常用発電機と家庭用燃料電池を組み合わせ、棟内で電力を融通し合う最新システムを導入
 - 敷地面積／7,318.81 m² 建築面積／3,540.60 m² 延べ面積／72,291.55 m²
 - 2025 年 12 月下旬 竣工予定



▲「うめきた公園」が眼前に広がるロケーション イメージ



▲カーギャラリー付き住戸 イメージ

(2) (仮称)グラングリーン大阪 南街区分譲棟

- ・ グラングリーン大阪 南街区の最前列、ビジネスから観光まで幅広いニーズを担う、洗練された商空間のその先に誕生する大規模タワーレジデンス
 - 敷地面積／約 5,170 m² 延床面積／93,000 m²

デジタル活用

「“Osaka MIDORI LIFE”の創造」に向けて、このまちの快適性維持や様々な取り組み・施策の効果の可視化、まちを訪れる方がこのまちを使いこなせるよう、またイノベーション活動の活発化に向けて、その下支え・根幹となる ICT/DX 施策を導入します。

また、その導入に際しては、事業者 JV のみならず、内閣府主導によるスーパーシティ型国家戦略構想や国土交通省主導によるスマートシティに関する取り組み、および大阪府・大阪市や UR 都市機構、パートナー企業などによる官民連携をもとに取り進めています。

■スーパーシティ概要

- ・ 複数分野の先端的サービスの提供と大胆な規制改革などによって、世界に先駆けて未来の生活を先行実現する「まるごと未来都市」であるスーパーシティの実現に向けた取り組みについて、大阪府・大阪市は、内閣府による「スーパーシティ型国家戦略特別区域」の指定に関する公募に2つのグリーンフィールド（夢洲、うめきた2期）を対象として提案し、2022年4月、政令閣議決定により大阪市域が区域指定されました。
- ・ 大阪が目指すスーパーシティの実現に向けて、官民連携のもと大阪のスーパーシティ構想を強力に推進するため、大阪府・大阪市は知事や市長などを交えたスーパーシティ協議会を立ち上げ、事業者 JV はこれに参画し、グラングリーン大阪におけるスーパーシティの実現に向けた施策に取り組んでいます。

データで広げる“健康といのち”



▲大阪スーパーシティ全体計画概念図

大阪府・大阪市「大阪スーパーシティ全体計画（2022年12月）」

環境の取り組み

本プロジェクトでは、サステナビリティの実現とウェルビーイングなまちづくりを目指した取り組みを進めており、カーボンニュートラルの実現に向けた環境配慮エネルギーや新技術の導入を進めています。また、そうした取り組みが評価され、各種環境認証も取得しています。

- ・ 本プロジェクトでは CO2 の排出量 35%削減を目標に掲げ、様々な新技術を採用していく予定です。
 - 帯水層蓄熱
 - バイオガス発電
 - 下水熱・地中熱利用
 - 地域冷暖房
- ・ 電気については関西電力グループが再エネ価値取引市場で調達するトラッキング付非化石証書が付与された「RE100」対応の実質再エネ電力を、ガスについては Daigas グループが提供するカーボンニュートラルな都市ガスを導入予定です。
- ・ 上記の取り組みを踏まえ、本プロジェクトでは環境認証の取得も進めており、「LEED(リード)」の街づくり部門「ND(Neighborhood Development : 近隣開発)」の計画認証を取得しています。

【グラングリーン大阪 計画諸元】

計画諸元

プロジェクト名称	うめきた 2 期地区開発事業「グラングリーン大阪」
計画地	大阪駅北大深西地区 土地区画整理事業区域内
地区面積	約 91,150 m ² (都市公園を含む)

民地

	北館	南館	グラングリーン大阪 THE NORTH RESIDENCE	南街区分譲棟
敷地面積	約 8,400 m ²	約 25,260 m ²	約 7,320 m ²	約 5,170 m ²
延床面積	約 64,200 m ²	約 314,250 m ²	約 72,300 m ²	約 93,000 m ²
階数	地上 26F 地下 3F	パークタワー 地上 39F 地下 3F ゲートタワー 地上 18F 地下 3F サウスタワー 地上 28F 地下 3F	地上 46F	未定
設計全体統括	(株)日建設計・(株)三菱地所設計			
設計	(株)日建設計 (株)竹中工務店	(株)三菱地所設計 (株)日建設計 (株)大林組 (株)竹中工務店	(株)竹中工務店 (株)日建ハウジング システム	(株)竹中工務店 (株)日建ハウジング システム
監理	(株)日建設計	(株)三菱地所設計 (株)日建設計	(株)日建ハウジング システム	(株)日建ハウジング システム
施工	うめきた 2 期共同企業体 (株)竹中工務店・(株)大林組			

都市公園

- ・一般園地（整備主体：大阪市・独立行政法人都市再生機構）

公園名称	うめきた公園
公園面積	約 45,000 m ²

- ・公園施設（整備主体：事業者 JV）

総延床面積	約 11,000 m ²
設計	○公園施設全体（大屋根を除く） 基本設計・実施設計：(株)日建設計 ※VS. 設計監修：安藤忠雄建築研究所 ○大屋根 基本設計・実施設計：(有)SANAA 事務所
監理	○公園施設全体（大屋根を除く） (株)日建設計 ○大屋根 (有)SANAA 事務所
施工	うめきた 2 期共同企業体 (株)竹中工務店・(株)大林組

※都市公園内の公園施設は大阪市公園条例に基づく設置許可施設であり、運営計画などの詳細については今後市との確認を踏まえ決定します。

※本リリース記載内容は、今後の検討・協議などにより、変更となる場合があります。

以 上